

## ジブチ月例報告 (2024年4月)

在ジブチ日本国大使館

### 【外政】

- 4月9日、ジブチ大統領府は、アフリカ連合委員会（AUC）委員長へのユスフ外務・国際協力大臣の立候補についてコミュニケを発出。同大臣は外相として20年以上の経験を有し、仏語、英語、アラビア語に堪能。
- 4月15日、フランスを訪問中のユスフ外務・国際協力大臣は、セジュールネ仏外務大臣と会談。二国間関係や、軍事・防衛協力条約、経済・文化協力などの議題について意見交換を実施。
- 4月15日、ゲレ大統領は新たに大使として任命された、Mohamed Saeed Hassan スーダン共和国大使、Erdal Sabri Ergen トルコ共和国大使、Cheikh Ali Bin Abdul-Rahman Bin Ali Al-Khalifa バーレーン王国大使の信任状捧呈式を挙行。3名の新大使たちは、自国とジブチ共和国との交流と協力のレベル強化に向けて努力する意欲を表明。なお、今回任命された3名の大使は全員それぞれの国の駐ジブチ特命全権大使の地位にあるが、スーダン共和国大使及びトルコ共和国大使のみがジブチ駐在大使となる。
- 4月21日、ユスフ外務・国際協力大臣は、Suldaan Said Ahmed フィンランド外務省特使（アフリカの角担当）とアフリカの角地域の平和と安全保障の現状について意見交換を実施。両者は、当地域の課題に効果的に取り組むことで一致し、地域の安定を促進するためには、国際協力と多国間のコミットメントが重要であることを強調した。
- 4月23日、バードン法務・刑務大臣は、アディス・アベバで開催された第10回持続可能な開発に関するアフリカ地域フォーラム（ARFSD—10）に参加。このフォーラムは、国連アフリカ経済委員会（UNECA）がアフリカ連合、アフリカ開発銀行、国連システムと協力して主催したもので、アフリカ連合委員会の加盟国、政治的意思決定者、国連システムの地域・サブ地域機関が一堂に会した。
- 4月26日、ディレイタ国民議会議長は、エジプト・アラブ共和国への初の公式訪問を実施。ゲレ国家元首の使者としてエジプト・アラブ共和国のアブドゥルファッターハ・エルシーシ大統領に宛てたメッセージ文書を携えたディレイタ国民議会議長は、2025年2月に選ばれるAU委員長へのユスフ外務・国際協力大臣の立候補に対し、ジブチ共和国は偉大な兄弟国であるエジプトの支援に大いに感謝すると述べた。
- 4月29日、ゲレ大統領はLawrence Korbandy・IGADスーダン特使と会談。スーダンでは、1年以上にわたって激しい紛争が続いており、スーダンにおけるIGADの調停は、停戦の確立と同国への人道援助の円滑な提供を優先させる必要があるという点で両者の見解が一致した。会談にはユスフ外務・国際協力大臣、ウォックネーIGAD事務局長も同席。

### 【経済・開発】

● 4月20日、アブドゥルカデル首相はジブチ航空と 7th Aviation & Infounlock LLC の覚書調印式に首相が出席。同覚書に基づき、今後ジブチ航空と 7th Aviation & Infounlock LLC は航空・ホテル分野における緊密な協力体制を確立するために手を組むことになり、ジブチにとってこのパートナーシップの確立は観光の可能性をアピールする機会となる。

● 4月25日、ジブチ大学は土木工学の新しい先端研究室「ARCLAB」を正式に発足。

同研究室発足式典はジブチ大学工学部で開催され、ナビル高等教育・研究大臣の他、同大学のジャマ・モハメッド・ハッサン学長等が出席。ARCLAB研究室は、最先端の設備と技術を備え、土木工学分野における技術革新と最先端の研究を促進する環境を提供し、実践的な学習や学際的なコラボレーションの機会を提供することで、学生や研究者の能力を高めることを目的としている。

### 【保健・衛生・社会】

● 4月1日、外務・国際協力省において、ユスフ外務・国際協力大臣は、フー・ビン駐ジブチ中国大使と共同で、ジブチにおける中国医療チームの協定更新を祝う調印式を開催。同調印式にはロブレ保健大臣も出席。

● 4月3日、ゲレ大統領はハラムス地区の私邸において、毎年ラマダン時期に開催されるコーラン暗記大会の優勝者に対し賞品の授与を実施。

● 4月4日、ヒボ青年・文化大臣は、第11回全国ヤシーダ（古典詩）コンクールの開幕式に出席。

● 4月24日、ゲレ共和国大統領は、国立図書館において、第2回ジブチ・ブックフェアを開催。このブックフェアは、“青少年文学：口語から文語へ”をテーマに開催され、12カ国、約100作品の様々な言語の作品が参加し、作家、出版社、読者による会議、討論会、ワークショップ、会合が相次ぎ、文学作品の制作、交流、共有を促進することを最大の特徴としている。

### 【軍事・治安】

● 4月20日、ザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長は、ホルホル陸軍士官学校において執り行われた指揮官の交代式に出席。同式典には国防軍や治安機関の幹部、地元の関係者等も出席。

### 【日本関係】

● 4月8日、原大使は、警備会社G1S社のアミナ社長と女性活躍や同社の優先課題等

について意見交換を実施。

- 4月8日、原大使は、駐ジブチ伊軍基地のステファノ・カプリオーネ司令官（陸軍大佐）とマウリツィオ・メレ・カラビニエリ派遣隊長（憲兵隊大佐）を表敬訪問し、ジブチにおけるそれぞれの任務・活動、両国間の協力等について意見交換を実施。
- 4月12日、大使公邸においてC J T F－H O A司令官のショーリー少将及び駐ジブチ米軍基地司令官のクラウス大佐の離任レセプションを開催。
- 4月17日、原大使は、国営ラジオテレビ局R T DのAden Abdi Djama社長を表敬訪問し、スタジオを含む建物建設、番組作成機材の供与等、日本がこれまで支援を行った事業に関し意見交換を実施。
- 4月19日、原大使は、ジブチ柔道連盟が開催した日ジブチ友好柔道大会を視察及び表彰式へ出席。同大会はスポーツ担当庁後援のもと、66名の選手が参加し熱い試合を繰り広げた。なお、同大会表彰式には、Khadiga Ibrahimスポーツ担当次官や同庁幹部、J I C A所長や拠点司令等も出席。
- 4月21日から22日まで、原大使はアリサビエへの訪問を実施。地方議会本部、果物加工組合や日本政府が資金協力を行った学校や飲料水製造ユニットが所在する、ダナン村等を訪問。
- 4月23日、原大使は当地紙La NationのFahim Ibrahim Ali社長を表敬訪問し、今後の協力について意見交換を実施（Kenedid Ibrahim Houssein編集長同席）。
- 4月23日、原大使はユスフ・ジブチ商工会議所会頭等4名らと商工会議所の歴史、地域の経済状況、各企業の活動等について意見交換を実施。
- 4月24日、原大使は駐ジブチ西軍基地の司令官マルトレル空軍中佐を表敬訪問し、西軍が参加するE UのA T A L A N T A作戦について意見交換を実施。
- 4月28日、原大使はMassidaグループのAndré Massida会長及びReuben Ahronee社長らとグループの歴史、活動、地域の経済状況、その影響等について意見交換を実施。

（了）